

● 議案第47号：磐田市森林環境整備基金条例の制定について 原案可決（全会一致）

譲与基準5/10（987ha） 林業就業者数2/10（25人） 人口3/10（16万7210人）
中遠農林事務所管内で当初から基金を設置するところは磐田市のみです。県全体では、設置済み5、今後設置予定19、35市町中約7割が基金を設置予定。磐田市はこの基金を活用して、広く市民の皆様へ木材の良さを周知するため、今後予定されている施設の建設や改修の活用を図っていく予定です。

● 議案第58号・議案第59号・議案第60号・議案第61号：

令和元年度ながふじ学府一体校建設工事 原案可決（賛成多数）

議案番号	工事内容	入札件数	予定価格（税抜）	落札価格（税抜）
議案第58号	建築	1社	4,046,000,000	3,998,000,000
議案第59号	電気設備	16社	499,700,000	359,784,000
議案第60号	給排水衛生設備	2社	376,300,000	375,000,000
議案第61号	厨房設備	2社	217,600,000	171,300,000

（単位：円）（公告日令和元年5月23日）

※ 1回目では、本体工事である建築において入札参加者がいなかったため、全て中止となりました。

※ 予定価格事前公表は、令和元年5月の公告分から適用されています。

※ 電気工事は不調により、現時点では契約されていません。



2019年6月磐田市議会定例会
あしかわ和美 一般質問報告（抜粋）

1、大規模な太陽光発電設備の現状と今後の対応について・・・私の想い

平成23年3月11日の東日本大震災に伴い、福島第一原子力発電所で発生した原発事故発生後、国のエネルギー政策は原子力発電から再生エネルギーへと大きく方向転換し、その取り組みも急速に進みました。磐田市は太陽光発電の導入に最適な自然環境が整っており、建設があちらこちらで見受けられます。

現状、本市には太陽光発電設備導入に対して特にルールはありません。問題が起これからの対応では大変な労力と費用、そして時間がかかります。こうした事態を引き起こす前に、住民の安全と安心を将来にわたり確保する観点から、ガイドライン等を早急に検討・制定する必要があると思ひ、質問しました。



【質問1】本市の太陽光発電設備の設置状況と、

普及に対する考え方は。

答弁⇒ 固定価格買取制度における、市内の1,000キロワット以上の設置件数は平成30年12月末時点で16件です。この事業は地球温暖化対策として有効な手段の一つだと考えており、今後も適正な導入を指導していく中で普及促進に努めてまいります。



⇒ ⇒ ⇒ 次ページに続きます

【質問2】設置に対する市民からの不安の声について。

答弁⇒ パネルからの反射光や温度上昇といった、漠然とした不安については幾つか相談を受けていますが、設置による地域住民と事業者の間に起きた大きなトラブルはありません。

【質問3】設置の際の指導方法は。

答弁⇒ 土地の面積が1,000平方メートルを超える場合には、磐田市土地利用事業の適正化に関する指導要綱に基づく指導を行っています。

【質問4】太陽光発電設備の適正導入に向けたガイドライン等の制定についてどのように考えているか。

答弁⇒ 本年度中の条例制定を目指して準備を進めたいと考えています。現在、庁内の課長級での検討委員会、その下にはグループ長級の作業部会がございまして、当面はこの二つの組織で内容を検討しながら、その後にパブリックコメント等も実施いたしまして、年度内に条例案を上程をさせていただければと思っています。

2. 持続可能な開発目標「SDGs」の理念を生かす取り組みについて・・・私の想い

SDGs（エスディーゼーズ）とは、誰一人取り残さないという理念のもとに、世界中の皆で目指す持続的な社会、地球環境を構築するための目標です。人間、繁栄、地球、平和、協働という5つの分野、そして17の目標と169個の具体的なターゲットが決められています。

これらの目標は世界の人々が皆で協力し、人権だけでなく環境や経済も大切にすることを目標にしていこうと、2015年9月の国連サミットで採決されたものです。磐田市においても総合計画にからめて推進していければと感じ、質問しました。



【質問1】SDGsにどのような認識を持っているか。また今後の取り組みは。

答弁⇒ 方向性は本市の行政運営にもつながり、意義のあるものだとして認識しております。第2次磐田市総合計画や『磐田市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の取り組みは、まさにSDGsの取り組みと共通するものが多いと認識しておりますので、これまでと同様に諸施策を着実に進めていきたいと考えております。

【質問2】各自治体に対するSDGs導入推進の要請と、磐田市の責任と役割をどのように考えているか。

答弁⇒ 本市の発展、持続可能なまちづくりを進めていくことが本市の責任と役割であり、SDGsの推進に繋がるものと考えます。地方創生におけるSDGsの役割と本市の施策との関連については、例えば本市で推進しております、ながふじ学府一体校の整備や小中一貫教育の実施、JR御厨駅の整備や新東名スマートインターチェンジのハード整備などは、それぞれにSDGsの目標である、質の高い教育を全ての人に提供することや、住み続けられるまちづくりを目指すことにもつながる取り組みであると考えます。今後も引き続き、総合計画や総合戦略を推進することでSDGsの取り組みも進めることができると考えます。

【質問3】プラットフォームの必要性についてどのように考えているか。

答弁⇒ 現在のところプラットフォームの設立は考えていませんが、産学官金労で組織する磐田市行政経営審議会において、総合計画や総合戦略に対する各界からの意見をいただき、推進を図っているところでございます。

【質問4】職員や市民を巻き込んだ研修や対話できる場についてはどのように考えているか。

答弁⇒ 職員に対する研修を実施するとともに、市民に対しても広報紙やホームページ、市長と市政を語る会などを通じ、各種取り組みについての情報提供を行っているところでございます。以上のような取り組みが、結果的にはSDGsの取り組みにもつながるものと考えてございます。